（国）重要無形民俗文化財　（県）有形民俗文化財

ユネスコ無形文化遺産

尾張津島天王祭　朝祭の花形
市江車　季節到来!!

問　生涯学習課　☎(55)7137

2年前にユネスコの無形文化遺産に登録された「尾張津島天王祭」が7月28日(土／宵祭)、29日(日／朝祭)に催されます。

この祭は、約六百年の歴史があるとされている津島神社の祭礼であり、夏の疫病退散を願い、執り行われます。

宵祭では、津島市内から提灯で飾られた五つの巻藁舟が天王川公園の丸池に繰り出し、幽玄で美しい光景を見せます。

朝祭では、一晩で巻藁舟から豪華絢爛な幕で飾られた車楽舟へと模様替えした5つの車と、愛西市から市江車が加わり、天王川公園の丸池で勇壮な姿を見せます。

市江車は、車屋と呼ばれる代々行事を統括する家に加え、保存会や東保町の住民などが中心となり、奉仕しています。朝祭のおよそ1か月前から、本格的な準備や行事が行われます。その苦労と伝統を担う重責は、並大抵のことではありません。

児行列(ちごぎょうれつ)に注目!!

28日の宵祭の日には、西保町に所在する星大明社より市江車の児行列が行われます。午後4時半ごろに星大明社を出発し、県道一宮弥富線を北上して、須依交差点を西に進み、旧佐屋宿を通行します。市指定文化財「佐屋代官所址」前を通り、佐屋くひな公民館まで行列が行われます。

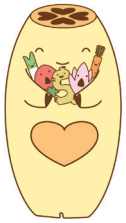
星大明社へ向かう一行

自分の背丈よりも大きい鉾を持った子どもたち、裃姿の車屋、神の依代(よりしろ)であるため地上を歩かない児、児を肩車して移動する「児担ぎ」などを見ることができます。行列をなし、田園地帯を進む光景や沿道で夏の風物詩を味わう人々の姿はとても美しい情景です。児行列を見た後に宵祭、翌日には朝祭を一度ご覧になってみてはいかがでしょうか。

肩車される児

鉄舟リニューアル!!

昨年度、尾張津島天王祭車楽舟行事伝承保存委員会によって、市江車の土台となる鉄製の舟が修理されました。長年の使用で塗装の劣化やサビが目立っていましたが、サビが落とされ、塗装も塗り直されました。本年の朝祭からリニューアルした舟で祭に臨みます。



市江車行事の見どころスケジュール（時間は目安です）

7月28日(土)
場所：西保町星大明社ほか

午後4時	星の宮試楽
午後4時30分	児行列

7月29日(日)　朝祭
場所：天王川公園および津島神社

午前9時	市江車出船	午前10時30分	神輿還御
午前9時30分	鉾持ち飛び込み	午前11時	神前奏楽
午前10時	御旅所着	午前11時30分	終了